

事業報告書

団体名：(一社) 京都社会福祉士会中部支部口丹地区

| | |
|---------|---------------------------------------|
| 1. 事業名 | 第13回社会福祉公開講座 |
| 2. 実施内容 | 実施した内容を具体的に記入してください。(日時、場所、参加者数、内容など) |

※ 社会福祉公開講座実施準備会 計11回実施

日時：平成27年5月～平成28年2月 10時～12時 (内、資料作成と前日準備13時～15時)
場所：ガレリアかめおか 3F第2会議室 (内、1回、亀岡市立老人福祉センター)
出席：延べ64名
内容：5月・講演テーマの決定「認知症カフェ」について
6月・講座内容の検討
7月・日時・会場・講師への依頼について
8月・講座の構成
9月・講座の要綱の作成
10月・協力機関への依頼
11月・チラシの作成・広報活動
12月・チラシ配布、プログラムの作成
平成28年1月・申込名簿の確認、講師への確認、当日の役割分担の決定
2月・当日配布物準備、資料の印刷

※事前研修

日時：平成27年8月23日(日) 10時～17時
場所：同志社大学京町家キャンパス「江湖館」(こうこかん) で開かれる、オレンジカフェコモンズ
出席：1名
内容：OJTを通じた認知症カフェ運営者育成に関わる事業で、実際に運営しているカフェをのぞいてみることで「認知症カフェ」の理解を進める。
研修受講料：無料

※ 第13回社会福祉公開講座

日時：平成28年2月20日(土) 13時～17時
会場：ガレリアかめおか2F大広間
参加者数：57名

※ 事業のまとめ

日時：平成28年3月6日(日) 10時～12時
場所：ガレリアかめおか3F第2会議室
出席：8名
内容：会計報告、アンケート集計、報告書チェック

| | |
|--|--|
| 3. 成果 | 事業の実施により、課題解決がどのように図られたのか、申請時の事業計画書と対比させるかたちで、事業の効果や成果を数値、具体例などを用いて具体的に記入してください。 |
| <p> 昨年度は「介護保険制度、どこが変わるの？」とのテーマのもと講座を開催し、その中で「地域包括ケア」の機能強化がより求められることを学んだ。今年度はさらに具体的に「居場所づくり」の一つとして、『認知症カフェ』について学びたいと考えた。2025年には約700万人（約5人に1人）が認知症の人と推察される。亀岡市においても、各自治会や有志のグループが、さまざまな形で高齢者が安心して地域で暮らせるための場を提供されているが、この講座の準備を進める中で、居場所づくりの対象を『認知症』というカテゴリーに特化する必要があるのか？との疑問も出た。 </p> <p> 本講座では、亀岡市社会福祉協議会にご協力いただき、まず現在の地域の高齢者サロンの紹介をしていただいた。約40のサロン活動が行われていることがわかり、参加者も大変関心を持って下さった。 </p> <p> そして、講師の武地一先生からは、①認知症という病気を振り返って、②認知症への取り組みやオレンジプランとカフェ、③認知症カフェとは、④認知症カフェ運営の実際、⑤認知症カフェ運営の様々な形と課題、という話しの内容で御講演いただき、高齢者サロンと認知症カフェの違いを学んだ。特に、世間的にニーズが高いのは認知症予防についてであるが、そこにあるのは「認知症にはなりたくない、なったらおしまい」という認知症を排除する精神の場合も多いということ、また「誰もが集える場」という響きのよい言葉が、結果的に認知症の人を排除している場合があるということを知ったことは、大変有意義であったと思う。 </p> <p> この度の、地域での「認知症の人」への「支援」という視点での講座は、「予防」とはまた違い、実りあるものであったと実感している。アンケートからも、地域福祉への理解がまた一つ高まったものと考えている。 </p> <p> 参加者：民生委員、地域包括支援センター、居宅介護支援員、介護福祉士、自治会等一般市民、社会福祉士の57名の参加者 </p> <p> 効果：①地域での福祉活動の啓発・促進に効果があった。 ②亀岡市社会福祉協議会等、地域福祉の他機関との連携がもてた。 ③社会福祉士会の公開講座への初めての参加者が21名おられ、当会を知っていただく機会となった。 </p> | |
| 4. 協働の効果 | ※市民連携事業・行政連携事業のみご記入ください。 事業を協働で実施したことによる効果について、数値や具体例などを交えながら具体的に記入してください。 |
| 5. 今後の展開 | 事業の実施成果を受けて、今後の事業展開をどのようにされるのか、申請時の事業計画書と対比させるかたちで、記入してください。 |
| <p> 事業としては、今後も地域に根ざしたテーマを掘り起こし、地道に「社会福祉公開講座」を開催していきたい。 </p> <p> 今回、亀岡市社会福祉協議会の協力を得て、地域の現状を紹介できたのは、良かった。社会福祉協議会をはじめ関係機関との連携に努めてまいりたい。 </p> <p> 本講座に参加者されたある地域より、「認知症カフェ」の開催に向けての支援の依頼があった。日頃、「公開講座」以外にも福祉相談会等地域に根ざした活動を行っているが、今後もさらに、地域において社会福祉士会の活動メインである“福祉をつなぐ”役割を担っていきたい。 </p> | |

第13回 社会福祉公開講座

認知症カフェってどんなところ？

～地域包括ケアの視点から考える～

例年実施して参りました「社会福祉公開講座」ですが、第13回目となる今回は、「認知症カフェ」について学びます。その取り組みについては色々な課題が見えてくると思いますが、地域の中で、どうしたら認知症の方を見守り支えていけるのかを考えます。地域でのさまざまな取り組みをさらに深めていただける機会となれるよう、皆様のご参加をお待ちしています。

日時：平成28年2月20日（土）14:00～16:30（受付 13:30～）

会場：ガレリアかめおか 2階 大広間

内容：●講演「認知症カフェについて」

講師：武地 ^{たけち} ^{はじめ} 一氏（京都大学医学部附属病院 神経内科講師）

《プロフィール》

医学博士。日本老年医学会、日本認知症学会、日本老年精神医学会の専門医・指導医。認知症ケアにおける認知症カフェの重要性を提唱されています。NPO法人オレンジコモンズ理事長。京都認知症カフェ連絡会代表世話人。『認知症カフェハンドブック』編著・監訳。

●報告「亀岡産サロンって、こんなにあります！」

報告者：熊谷 ^{くまがい} ^{まき} 真喜氏

（社会福祉法人亀岡市社会福祉協議会 地域支援課地域福祉係 係長代理）

定員：80名

参加費：無料

主催：一般社団法人 京都社会福祉士会 中部支部

後援：亀岡市

※この講座は「平成27年亀岡市支えあいまちづくり事業」の助成を受けて実施します

【申込方法】 裏面の申込事項をFAXまたは郵送、もしくは申込項目を記載しメールにてお申し込み下さい。

【問合せ・申込先】

〒602-8143 京都府京都市上京区猪熊通丸太町下ル仲之町 519 京都社会福祉士会 2F
TEL:075-803-1574 FAX:075-803-1575 Email: cswkyoto@mediawars.ne.jp